

1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年5月26日

【評価実施概要】

事業所番号	2872300450
法人名	有限会社 黎明
事業所名	グループホーム あけぼの
所在地	三木市芝町4番20号 (電話) 0794-86-8877

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成21年4月16日	評価結果確定日	平成21年7月31日

【情報提供票より】 (21年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年7月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	16人	常勤	5人, 非常勤11人, 常勤換算 9,51人

(2) 建物概要

建物構造	木造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	17,500円	
敷金	有(120000円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有()円 / 無()円	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	120円	昼食	350円
	夕食	350円	おやつ	30円
	または1日当たり		850円	

(4) 利用者の概要 (4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1	要介護2	5		
要介護3	2	要介護4	0		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 88歳	最低	78歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	内科 島田医院	歯科 横山歯科医院
---------	---------	-----------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

周辺はのどかな田園風景を残す環境に恵まれた住宅地に位置するホームである。地域の風土や慣習等に配慮しながらも、地域住民に認知症を理解し支援してもらえるよう関係団体への働きかけを継続し、また、近隣住民の方々の日常のさりげない触れ合いも大切にしている。職員は、利用者の視点に立ち、個別性を重視したケアを提供する事で、利用者が「のんびり、楽しく、自分らしく」生活していけるホームを目指し努力を重ねている。利用者の健康管理については医療連携体制を整備し、看護師の資格を有する管理者が中心となり支援している。重度化や終末期ケアも家族や担当医と方向性を統一し、利用者・家族の思いを尊重した取り組みを行っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	評価の意義は年々しだいに深まりつつある。評価の結果はスタッフには回覧しており、享受的な理解を得ている。家族には報告しているが周知するまでには至っていない。
重点項目	今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:第三者4)
	グループ分けを行い、自己評価表を作成し、評価の結果はスタッフに回覧し素直に受け入れてもらっている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:第三者4,5,6)
	運営推進会議は3ヶ月に1回行っており、利用者も参加している。テーマは「利用者の状況」「地域の行事」「経営状況」を中心に話しあいを行い、会報誌にも掲載している。市との関係ではさらに良好な関係を保つよう働きかけを行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	家族には様々な機会を通じて報告、連絡を取り合っている。面会時には計画表を用いて確認をし、苦情、要望等は受付簿に記入していただくよう努めている。実践において活かせるよう本人の周囲も含めて話し合える機会を設けている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
重点項目	利用者が地域の一員となるようスタッフが関わりをもち、地元の住民事務や自治会に参加しやすいよう働きかけている。その経緯はケアプランにも盛り込まれており、モニタリングで本人の行動、活動について理解を深めるよう努めている。

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の内容に「地域との関係」「地域に貢献」「地域密着型」の文言を掲げており、理念を遂行することを心がけている姿勢がうかがえる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時に基本理念、運営方針を唱和しており、職員に意識づけるよう努めており、携帯用の名札にも基本理念が明記され、理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者が地域の一員であるように、スタッフが関わりを持った上で地域の自治会や行事に参加できるよう努めている。その経緯はケアプランにも盛り込まれており、モニタリングで本人の行動、活動を確認できるよう記録されている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>設立時より評価の意義は深まりつつある。評価の結果はスタッフには回覧しており、享受的な理解を得ている。家族には一応の報告はしているが配布し周知するまでには至っていない。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は3ヶ月に1度行っており、利用者の参加も実現できている。会議では「利用者の状況」「地域の行事」「経営状況」を中心に話し合いを行っており、会報誌にも掲載している。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所の担当者とは連絡を取り合い良好な関係が保てている。今後は特に法的な基準や規則について相談することが必要と感じており、進んで市の助言を参考にしたいと願っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の報告の際に、利用者の状態を細かく記入している。面会時には計画表も見ていただくよう働きかけており、苦情、要望は受付簿に書いていただくようにしている。実践に活かせるよう本人の周囲のことも含めて話し合うよう取り組んでいる。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議では、市からの意向や連絡事項についても報告しており、第三者評価の内容と共に家族に報告しており、理解をいただいている。今後ともさらに市の意向や第三者評価の内容について意見を交換できる場として考えていきたい。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>昨年度と比較すると職員の異動は少なく、落ち着いている。業務の引継ぎに関しては重複期間を設けており、スムーズに移行できるよう努めている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修計画は意識して作成しており、採用時の研修をはじめ外部の研修にも参加できるように職員にも周知を図っている。受講後は共有できるように学習の場を設けている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内にグループホームは4箇所あるが、交流の不十分さは感じている。お互いに助けあえるよう必要性は理解しているものの実施には至っておらず、今後の課題として認識している。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>					
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>希望者に馴染みを持ってもらうよう家具や生活用具には注意している。希望があれば体験入所も可能だが空きは殆どない状態である。生活のリズムや習慣に合わせたケアを実践中である。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>可能なかぎり接する時間を多くしようと、スタッフ全員が取り組んでいる。食事の際にも盛り付けや味見もしてもらっている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>定期的にケアプランをチェックすることにより、利用者の意向を綿密に把握することを心がけている。健康状態についても普段の状態との違いについて観察するよう努めている。</p>		
<p>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプランを作成する際、担当制により、利用者の心身の状態を理解、分析し、効率性を高めている。またケアマネージャーを中心に家族やその他の職員からも意見を聴取し、柔軟性を持たせている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的には半年に1回、生活過程判定用紙をもとに利用者の状態を確認し、また急な状況変化にはその都度変更する等、介護計画の見直しをおこなっている。更に、月に1回モニタリング記録用紙を使用し、介護計画が利用者の現状に合っているか振り返るよう取り組んでいる。</p>		<p>管理者は利用者主体の介護計画になっているかを常に意識し、日常のケアを振り返っていくことを重視している。定期的に振り返り記録に残すためのモニタリング記録様式の変更や、介護計画見直しの記録徹底について職員とともに再度検討・確認の予定である。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制にて看護師の資格を有する管理者を中心に、利用者の体調管理に取り組んでいる。ターミナルケアの経験があり、家族の思いを尊重しホーム内で葬儀を行うことができた。通院や入退院時の送迎等は、利用者・家族の意向にそって職員が柔軟に対応している。個々の希望に沿った買い物や外出ができるよう支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医である内科医の往診は2週間に1回、歯科は適宜受診している。かかりつけ医等希望があれば柔軟に対応し、受診状況については家族と情報共有し、健康状態の的確な把握に努めている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に重度化や看取りについてのホームの指針を利用者・家族に説明し同意を得ている。ターミナルケアの経験があり、利用者の状態変化に応じ、主治医・家族・職員間で話し合い認識を統一し、介護共同計画書を作成し協力体制が整うよう取り組んでいる。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者への言葉使い、接し方等、個々のプライドに配慮しそれぞれの意向に沿って対応している。個人情報の方針や利用目的について利用者・家族に説明し同意を得ている。記録類は事務所の施錠できる場所に保管している。</p>		<p>年間研修の中に個人情報保護を含むプライバシー保護への取り組みについて研修を期待する。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりのその日の状況を見極め、生活のリズムに沿った支援ができるよう取り組んでいる。起床や就寝の時刻・食事の開始時間・レクリエーションへの参加等は個々の希望に配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>昼・夕の食事は、配食サービスとホーム内で調理する機会とを交互に取り入れているが、利用者の希望を反映した献立も定期的に組み込んでいる。また、朝食はホーム内で準備し、ご飯やパン食については選択できるように配慮している。盛り付けや下膳等は利用者とともにし、職員も一緒に食卓を囲み、食事が楽しみの時間となるよう支援している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本は週に3回の入浴となっているが、日時について利用者の希望があれば柔軟に支援できるように取り組んでいる。同性による介助の希望があれば対応し、羞恥心への配慮がある。個々の入浴の習慣を把握し、好みにあった温度や入浴時間に配慮している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>ゴミ集め・拭き掃除・花の水替え・草花の手入れや草ひき等を無理のない範囲で利用者の日々の役割として支援し、個々の力を活かす場面を作っている。ボランティアの協力のもと、折り紙・手芸品作り・音楽遊びやラジオ体操等の機会を作り、個々に合った支援を行っている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>年間行事の中で花見・日帰り旅行等の機会がある。また日常でも、天候や気温を考慮しながら、できる限り外出するよう取り組んでいる。近隣の公園や神社へ行ったり、ホーム前のベンチでの外気浴等を楽しむなど、気軽に戸外に出る機会を作っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者の不穏な状態など心身の状況に応じて玄関は施錠しており、家族への了解を得ている。利用者が閉塞感を感じないように見守り、適宜声かけや外出に付き添うなど支援している。身体拘束の研修を実施し、施錠についても改善策がないか、話し合う機会を作っている。</p>		
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防の協力を得て、年に2回の避難訓練を実施し、夜間発生も想定した訓練も行っている。地域の防災訓練に参加し協力体制を整えると共に、運営推進会議にて防災訓練について報告し、委員の理解も得ている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量・水分摂取量は個々の利用者毎に記録し、健康管理に活かされている。利用者の好みや要望を食材業者に伝えたり、栄養バランスについて市の栄養士に相談する機会があった。</p>		

第三者 自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>				
29	<p>81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関周辺には四季折々の花々や鉢植えがあり、さりげなくベンチを置きくつろげるスペースを設けている。ホーム内もテーブルに花を飾り、廊下等に適宜椅子を配置し、家庭的で安らげる空間となっている。また、清潔保持に努め、適宜換気や温度調節に配慮し、気になる空気のおよみや臭いも感じられなかった。</p>		
30	<p>83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>今までの暮らしを把握し、馴染みの家具やテレビ・仏壇・家族写真・趣味の作品等持ち込めるよう支援している。居室内が広めなため、家族も宿泊ができ、利用者とのくつろぎの時間を過ごす事が可能である。</p>		

 は、重点項目。